

図書だより

第7号

2020.12.7
福島県立只見高等学校
図書部



2020年の終わりに読む本

第2学期期末考査が終わり、いよいよ2020年も終盤ですね。皆さんにとって、今年はどうのような1年でしたか。年末のお供にしてほしい本を紹介します。ぜひ図書室へ！

特集 柳美里さん、全米図書賞を受賞！

先月19日午前、柳美里（ゆうみり）さんの小説「JR上野駅公園口」が全米図書賞（翻訳文学部門）を受賞しました！ ※全米図書賞は、米国で最も権威ある文学賞。

柳さんのお母さまは只見町出身です。ご自身は神奈川県にお住まいでしたが、2015年に福島県南相馬市へと生活拠点を移されました。今回の受賞作で描かれているのも、東京に出稼ぎに行った南相馬市出身男性の生涯です。

さて、図書室には柳美里さんの小説が3作配架されています。

受賞作の他、『雨と夢のあとに』『ねこのおうち』も読んでみませんか。



★新着図書情報（11月）

- 『夜明けのすべて』（瀬尾まいこ）
- 『いつの空にも星が出ていた』（佐藤多佳子）
- 『とわの糸』（小川糸）
- 『風よあらしよ』（村山由佳）
- 『この気持ちもいつか忘れる』（住野よる）
- 『劇場版鬼滅の刃無限列車編ノベライズ』（吾峠呼世晴）
- 『類』（朝井まかて）
- 『公務員という仕事』（村木厚子）
- 『会社のしごと』シリーズ（松井大助）
- 『キャロリング』（有川浩）
- 『ボックス！』上下巻（百田尚樹）
- 『天地明察』上下巻（沖方丁）
- 『山桜記』（葉室麟） 他多数！

今日は、皆さんが「考える」時のヒントになる本が集まっています。

★年内最後の古本市

球技大会前日 17日（木）の昼休みに開催します。ご参加ください！！

★11月の図書館事情

開館日	21日
入館者数	643人
貸出冊数計	28冊
1年生	0冊
2年生	6冊
3年生	10冊
教職員	12冊

12月の結果やいかに……。

良いお年を
お迎え下さい